

ゆうゆう通信

平成25年10月1日発行 第9号

発行 飯田市立病院介護老人保健施設
ゆうゆう 広報委員会
〒395-8503 飯田市上郷黒田341
電話 53-6048 FAX 53-6047



また昼食には土用の丑を兼ねたうな丼を食べ、美味しいと喜んでいただけました。そして午後のお茶には職員が汗をかきながらカキ氷をかき、好みのシロップをかけていただきました。



入所では七月二十四日にゆうゆう夏祭りが行われました。この日はあいにくの雨降りになってしまいましたが、施設内で夏祭りの催しをしました。朝からちようちんや祭りの音楽で雰囲気は盛り上がり「お菓子すくい」とおみくじを楽しめました。夏祭り最大のイベントは職員が所属している和太鼓グループ「酔鼓」による太鼓演奏でした。女性グループならではの「華やかさ」と太鼓を打ち鳴らす「力強さ」に涙ぐむ入所者様もいたほど、文字通り心に響く素晴らしい演奏を楽しみました。

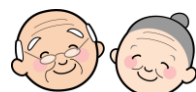


夏祭りを 行いました



デイケアでは八月六日から九日までの四日間夏祭りを行いました。今年も昼食バイキングを実施しました。メイン料理をたこ焼き、焼きそば、焼き鳥、お好み焼き、副菜としてフランクフルト、じゃがバターも焼きお祭り気分を味わって頂きました。デイルームにテーブルを設置し午前中から焼き始めお昼頃には料理の香りがたちこめ食欲をそそりました。各テーブル毎料理を取り最後にノンアルコールビール、リングジュース、オレンジジュースなど飲み物を選択するという方法で行い食べ始めました。普段食べる事の少ないたこ焼きなどはおかわりをしている利用者の方もいました。会話も弾み楽しい昼食バイキングになりました。午後は職員が浴衣、ハッピを着て竜峡小唄、東京音頭を踊りました。昔踊った事のある利用者の方が教えて下さったり、職員の輪に利用者の方も入り一緒に踊ったりと楽しい一時を過ごしました。午後のお茶にはカキ氷を楽しみました。暑い日だったのでみなさん喜んで食べて下さいました。

敬老会



《三階フロア》

九月十三日に敬老会が催されました。三階では午前に敬老の日の式典を、午後に太鼓の演奏という形で行われました。

三階の一〇〇歳以上の方は二名。それぞれユニットにて式典を行い、たんぽぽの式典では受け取った賞状を職員に返してしまいうハプニングもありましたが、それはご愛嬌。ご家族もみえ、一緒に一〇〇歳のお祝いをする事ができました。

午後の部では職員の所属する「花絆優（はなゆう）」さんの演奏が正面玄関前にて行われました。間近で聞く太鼓の迫力に圧倒されながら聞き入っておられました。

喜びの声も多く聞かれ、普段は見る事が出来ない職員の凛々しい姿を見ることができ、職員にも大好評でした。ほんとうに素晴らしかったです。

また来年も再来年も皆さん元気に敬老の日を迎えられるようがんばりましょう。



《二階フロア》

九月十三日に、二階全体にて敬老の日のお祝いを行いました。

まず、今年度一〇〇歳になられた利用者様に、県・市・社協等からのお祝いを事務長より渡して頂きました。ご本人からも「ありがとうございました。」と、はつきりした言葉でお礼がありました。

二階の最高年齢一〇二歳を横綱とし、大関、関脇：として、八十五歳以上二十六名の方の写真と、担当や家族からのコメントを発表させて頂きました。

ゆうゆうからの記念品をお渡しし、職員による歌や踊りを披露させて頂きました。「良かったに。」と、利用者様からの声を頂き、嬉しく思いました。昼食には、お赤飯等お祝いの食事、午後は各チームでレクをして楽しく過ごしました。



《通所リハビリ》

九月十日～十三日のかけて通所リハビリの敬老会を行いました。

事務長より敬老会のお祝いの言葉のあと、毎日その日の長寿番付を二位から三位まで発表させていた頂きました。通所リハビリの最高齢者は今年一〇〇歳を迎えられた男性です。まだ歩行器を押してしっかり歩いておられ、立派なごあいさつをいただきました。

そのあとゆうゆうからの記念品をお渡ししました。今年の記念品のお花は『ガーベラ』でした。ガーベラの花言葉は「常に前進、チャレンジ！」です。何歳になっても前向きに、色々な事に挑戦していくことは大切なことですね。健康で長寿の秘訣になると思います。大切に育てて頂ければ幸いです。

後半は毎日様々なボランティアさんに来ていた頂きました。ウクレレとフラダンスは同じくらいの年代の方がいきいきとダンスを踊っている姿に感動しました。「あんだんて」は琴とフルート、ピアノの少し変わった編成のグループで、唱歌や歌謡曲を演奏してくださいました。職員のドラムも加わり楽しい時間を過ごしました。美山晃大カルテットのジャズ演奏はプロの本格的なジャズを楽しみました。麦の会の民謡は有名な民謡を中心に竜峡小唄ではみんなで踊って楽しみました。



ゆづゆづ新任職員紹介

井原 由香里 (介護員)

勤務開始日 平成二十五年六月二十四日

配属先 二階 Aチーム

ひよこ

名古屋から引越してきました。早く仕事を覚え一人前になれるよう頑張りたいと思います。

清水 恵 (看護師)

勤務開始日 平成二十五年八月十九日

配属先 三階 Aチーム

ひよこ

利用者様の体調の異常を早期発見できるよう努めていきたいです。

和地 ベレン (介護員)

勤務開始日 平成二十五年九月二日

配属先 三階 Bチーム

ひよこ

利用者様一人ひとりを知りその人に合った介護をしていきたいです。



いい大人形劇フェスタ



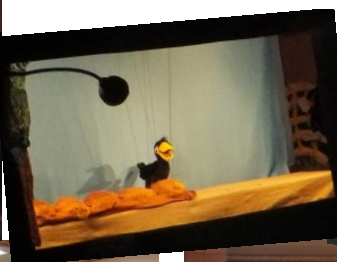
八月十日(土)に「いい大人形劇フェスタ二〇一三 ゆづゆ公演」が一階のデイケア室で行われ、一般の方と利用者様、職員合わせて一〇八名という大勢の方に参加していただきました。

今回来て頂いた劇団は「人形劇団あつぷう」で作品は「与作どんのおよめさん」。“一人暮らしの与作どんのところにタヌキのタン子が出てきて仲良く暮らしていましたが、町のおじさんから「お嫁さんと一緒に遊びにおいで」と言ってきたさあ大変!”という物語です。

当日は天気も良く、早くから一般の方や子供さん達が来られ、始まりを楽しみに待っていました。さあ開演です。糸あやつり人形を使つての笑いあり、涙ありの内容で会場全体が引き込まれました。四十五分間の公演終了後には子供達から「可愛い人形がたくさんだった」「楽しかった、また見たい」という声が、利用者様からは「劇の内容も良かったけれど子供達の笑顔で元気をもらった」等、皆さん満足された様子でした。今回、来られた劇団は大阪府吹田市から女性二人で見えました。遠い所から本当にありがとうございました。

「人形劇フェスタ」は昨年に引き続き二回目でしたが多くの方が参加され、ゆづゆを知って頂く良い機会となりました。利用者様や家族が満足され、地域の方に信頼され必要とされる施設であり

続けるために、今後も積極的な取り組みを進めていきたいです。



ボランティア日記

デイケアでは、月に二〜三回程度ボランティアをお呼びしています。民謡やハンドベル、太鼓オカリナなど様々なボランティアがきてくださっています。敬老会には「美山晃大カルテット」をお呼びし本格的なジャズを聴きました。ピアノとテナーサクスはプロとして活躍するミュージシャンです。枯葉やテネシーワルツなど本格的なジャズの音とテクニクに耳を傾けました。

ジャズのほかにも、りんごの歌やふるさとの唱歌や、蘇州夜曲や上を向いて歩こうなどの歌謡曲も演奏してくれ、歌集を見ながらみんなで生演奏に合わせて歌いました。

「若い頃よくライブハウスにジャズを聞きに行っていました。あの頃を思い出しました。」という方もいました。本格的な生演奏を聴きながら、楽しいひと時を過ごしました。

デイケアでは随時ボランティアさんを募集しています。ボランティアをしたいという方がおられましたら、ゆうゆうまでご連絡ください。



介護ワンポイントアドバイス⑥



インフルエンザの 予防と対応

インフルエンザは十二月下旬から三月にかけて毎年流行しやすくなります。予防としては、手洗い・うがいも大切ですが、ワクチン接種も有効です。高齢者は三〇〜六〇%の効果が期待できるとされていますので、予防接種を受けられる事をおすすめします。ただし、アレルギーのある方は主治医に相談して下さい。

また、流行期に人ごみへ行くときは、うつらないようにマスクをすることも予防になります。

インフルエンザにかかった方のくしゃみ・せきからウイルスが飛散し、体内に入り感染します。一〜三日で突然の発熱・頭痛・関節の痛み・体のだるさが出てきます。インフルエンザにかかった時はマスク着用、隔離をします。

症状が出たら早めに受診をして、内服は先生に相談して下さい。



編集後記

十月になりました。もうすっかり秋です。スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋…。皆さんにとって秋はどんな季節でしょうか？秋は気候的に体を動かしやすい季節です。普段体を動かすことが少ない方も、この秋から何かスポーツを始めてみてはいかがでしょうか？

ゆうゆうでは、十月に運動会を企画しています。激暑の疲れも吹き飛ばような、笑顔あふれる運動会になるといいですね。

(木)